玄宮園の見どころと江戸時代の遺構

玄宮園図を見てみると…

玄宮園の池泉である魚躍沼の東端部に設けられた船小屋。「御」の字がないことから、藩主の乗船場ではなく船の保管場所と考えられ、現在も雁木（石段）や水中に柱根が残ります。

玄宮園図を見てみると…

玄宮園と槻御殿は、藩主の慰楽や公的な接待等で利用され、城とはかけ離れたもののように思えますが、絵図にはしっかり二重の櫓が描かれ、現在もその礎石を見ることができます。

玄宮園図を見てみると…

玄宮園内の薩埵林に存在する社跡。弁財天と子安観音を祭っていたことが絵図からわかっています。これは大洞弁財天と共通するものです。この社の下には、水田があり田植え神事にもかかわっていました。

玄宮園図を見てみると…

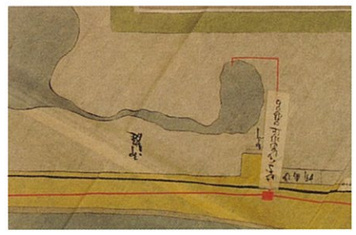
魚躍沼の南端部に設けられたもの。藩主が領内の五穀豊穣を祈って田植え神事が行われ、米の生育も確認していたと考えられます。隣接して神社も設けられました。平成24年度復元。

玄宮園図を見てみると…

魚躍沼における中心的な中島で、その名のとおり「鶴島」と考えられます。対になる「亀島」は龍臥橋の中島と考えられます。これらは、日本庭園の古くからの作庭思想の一つであった神仙思想（鶴は千年、亀は万年）に由来します。

●玄宮楽々園への給水について

玄宮園と槻御殿への給水については、外堀の南端部分から古式水道である樋筋によって導水されていました。外堀のこの部分は、芹川の旧河道であったため、豊富な湧水が得られる場所でした。特に玄宮園と槻御殿には石樋という風化した湖東流紋岩にニガリを混ぜて固めたもので作られた管が用いられており、平成20年に実施した桜場駐車場での発掘調査でも絵図どおりのルートで見つかっています。

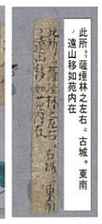


御樋筋絵図（彦根城博物館蔵）

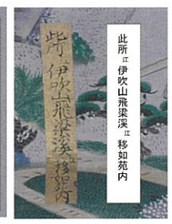
●玄宮楽々園の景観について

江戸時代中期末ころの玄宮園の周辺環境が分かる資料として「玄宮園外図」（彦根城博物館蔵）があります。玄宮園からの園外景観を示す絵図であり、この絵図には、伊吹山を含む周辺の山並みが玄宮園のどこから美しく望むことができたかが貼り付けられた付箋に記されており、園外の眺望についても庭園内に取り入れている意識を伺うことができます。このことから松原内湖周辺の環境が当時の玄宮園にとって重要なものであったことが分かる資料です。槻御殿から嗜好された眺望も松原内湖方面であり、特に「楽々の間」は論語の「賢者は山を好み、智者は水を好む」から名付けられたと考えられており、このため懸け造りとして高さを稼ぎ、塀越しに内湖や遠方の山並みを臨めるようにしてあります。

涵虚亭



臨池閣



鳳翔台

●玄宮楽々園の茶屋・茶所について

玄宮園内には、「春鶯軒」、「涵虚亭」、「鳳翔台」、「臨池閣」という4つの茶屋が存在していました。茶会では玄宮園内を回遊しつつ、これらの茶屋で茶を飲み、あるいは名物の披露、歓談、懐石料理を食すということが行われました。中でも「鳳翔台」と「臨池閣」が重視されたようで、特に園外の眺望の素晴らしかった場所に、この2棟の建物が配置されています。また、槻御殿にも複数の茶所が設けられ、現在、楽々園の庭園から見ることのできるものは「御茶座敷（地震の間）」と煎茶の「楽々の間」です。

現在は存在しない玄宮園の茶屋

春鶯軒

涵虚亭

槻御殿（楽々園）の遺構

11代直中が文化9年（1812）に退隠することに際して、槻御殿は大きく増改築がなされました。現在も残るその一つが奥向の書院「御書院」です。建築当初は「御新建」や「御新館」と呼ばれていました。

内部は、「御上段」、「上之御間」、「御次之間」、「御小座敷」の4室と「御入側」と呼ばれる縁側で構成されています。この中でも特に「御上段」は、床と棚、明床を備えており、壁は金地の貼り付け壁とするなど藩主、あるいは隠居した大殿の座する空間を引き立てています。屋根は柿葺です。

直中による槻御殿の改修は、建物の増築だけではなく、御書院の建築に併せて、御書院前面に新たに座観式の庭園も整備しています。この箇所は玄宮園の一部を改修して作られており、滝組が「御上段」から正面に見えるように設計されています。

この御書院から連続して「地震の間」「楽々の間」等の建物が存在します。地震の間は耐震構造の建物であるため今日そのように呼ばれていますが、当時は「茶座敷」でした。楽々の間も同様に数寄屋建築であり、12代当主井伊直亮により地震の間のさらに奥に増築されました。「楽々園」の名の由来ともなった建物です。

奥向書院とその前面の庭園

御茶座敷（地震の間）

楽々の間
（眺望を得るため懸造となる。）

名勝玄宮楽々園案内図

玄宮園十勝書上

玄宮園の名所10箇所（十勝）とその位置を書上げたもの。高い学識により多くの文人と交わり、藩校設立にも関わった僧慈海曇は、彼が遺した歌集『桜渓集』の中で「彦根の君の御園生を玄宮園といふ　うちに十の名ところあり　直中君のおほせをかうふりてよみたてまつりけり」と述べ、十勝おのおのの歌を詠んでいる。

◇○○…　10の名所はこの表示